

洪水時広域避難

洪水時における広域避難の考え方の周知について

答弁… 市民の皆様様に繰り返し説明し、多くの方に避難訓練に参加していただき、周知を図ってまいりたいと考えております。

野中 芳子 議員

野中 地域防災計画では、北川辺・大利根地域は広域避難を最初の避難行動としています。広域避難と避難所開設状況、交通渋滞回避対策等の周知方法について伺います。

また、洪水避難訓練に今後とも広域避難訓練を加えることで意識啓発や問題点が明確になると思いますが、考えをお伺いします。

環境安全部長 避難準備・高齢者等避難開始の発令前の自主的避難につきましても、避難所の開設は行いませんので、親戚や知人宅等へ避難することとなります。発令後につきましても、北川辺

地域の方々は騎西地域、栃木市、板倉町、古河市、野木町へ、加須・大

利根地域の方々は主に騎西地域や市外へ避難するように計画しています。

また、利根川左岸地域では、利根川中流4県境広域避難協議会を設立し、渋滞等を考慮した避難シミュレーションを行い、避難方向の検討も行ってあります。なお、広域避難の周知につきましては、洪水避難訓練の際には、洪水避難訓練の際に説明するとともに、防災出前講座、市報かぞ等においても周知をしております。

市長 水害が及ばない地域に避難をする広域避難の考え方を、市民の皆様と共通認識として持つていただくため、市民の皆様様に繰り返し説明し、多くの方に避難訓練に参加していただき、周知を図ってまいりたいと考えております。

地域農業活性化

地域農業活性化への今後の取組についての考えは

答弁… 米づくりを中心とした農業は、本市の重要な産業であると認識しており、これからも支援してまいりたいと考えております。

平井 喜一郎 議員

平井 農業の後継者が減少していく中で、専業農家と兼業農家、ともに農業に携わる者として、今後も継続できる政策や支援をしていただきたいと思っております。

また、国の補助金で賄っていた農地集積事業等も、平成29年度からは、市の予算を増やさなければ、事業が遂行できない状況になっていると伺っています。市の補助金により、この事業を後押しするということが、今後の取り組みについて考えをお伺いします。

市長 農地中間管理事業は、県内では相当進んでおり、土地改良事業を含めた耕地の拡張、いわゆる埼玉型ほ場整備（加須

方式）は、市の負担により何箇所も展開されております。さらに農地中間管理事業と併せて畦畔撤去及び整地を行う事業においても、国の方針転換により、市の財源負担は増えますが、米づくりのコスト削減につながるこの方式は、今後地域で希望があれば、積極的に支援してまいります。

また、農業支援につきましては、農家ごと、地域ごとに対応した支援を行うほか、農業政策だけではなく、コミュニティ政策等いろいろな意味で補完していく必要があると考えております。米づくりを中心とした農業は、本市の重要な産業であると認識しており、これからも支援してまいりたいと考えております。

市長 地域の医療問題を解決するに当たって、医師・看護師等は医療機関や介護施設においても不

済生会新病院

医師・看護師の確保に対する考えは

答弁… 今後も済生会と十分情報交換をし、市民の皆様方のご理解をいただきながら、市としてあらゆる支援策を講じていくことが必要であると思っております。

鈴木 久才 議員

鈴木 済生会新病院については、大体のベッド数が決まっているだけであり、医師数・看護師数、診療科目も決定していないと思いますが、医師1人当たり看護師が25人必要であるという話も伺ったことがあります。現在、済生会病院は南栗橋にあり、沿線上に、春日部・越谷市等の大都市が広がっており、人口規模も大きいことから、看護師を集めやすかったのではないかと思えます。済生会新病院の立地に向けた医師・看護師の確保に対する考えについてお伺いします。

鈴木 地域の医療問題を解決するに当たって、医師・看護師等は医療機関や介護施設においても不

足し、その確保は非常に重要な問題であります。済生会新病院の立地に向けては、済生会においても、これまでのノウハウをいかしながら、大学病院等と連携を図りつつ、確保に努めるということが第一義的にあると思えます。その上で市としては、市民の皆様方のご理解をいただきながら、あらゆる支援策を講じていくことが必要であると思っております。また、国の動きや県の施策にも期待しているところ

です。この問題については、今後も済生会と十分情報交換をしながら、最終的に加須市に来ていただけてよかったという形で持つていくことが、私の責任であると考えております。